

第4号議案

平成23年度 事業計画書

1 事業実施の方針

温室効果ガスの排出を大幅に削減するための革新的な技術開発と省エネルギー技術、生成可能エネルギー・新エネルギー技術の創出を目指し、低炭素社会の実現を図る観点から、本年度は前年度に引き続き、環境エネルギー関連技術に関して、東北大学の技術シーズを中心に国や地方公共団体の技術ロードマップ等との比較検討を行うとともに、国際社会への貢献の観点から中国の環境政策・技術等の実態についても調査研究を行う。その成果は、講演会やシンポジウム等を介して、普及・啓発活動を進める。

また、低炭素社会の実現には、多くの課題があり、特に、革新的な環境エネルギー技術開発の推進が緊急課題であり、そのためには、環境エネルギー技術に関する若手研究者・技術者の育成に必要な研究助成や奨学助成活動を積極的に進める。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲及び予定人数	支出見込額(千円)
環境エネルギー技術に関する調査研究事業	東北大学の技術シーズ及び環境省、経済産業省、産業界の技術ロードマップの調査と比較研究等を行う。 また、行政機関、民間企業等からの調査研究事業を実施する。	通 年	環境省、経済産業省、宮城県及び県内外の主な企業並びに中国の大学・企業	5人	全国2法人 延べ50人	1,600
環境エネルギー技術の普及・啓発事業	東北大学の環境エネルギー技術のこれまで蓄積された知見及び上記調査研究を基に、講演会や機関誌等を通じて普及・啓発活動を行う。	通 年	仙台市内高等学校、仙台国際センター、東北大学東京分室など	10人	高校生100人、企業技術者・一般市民300人	1,100
環境エネルギー技術に関する人材育成事業	若手研究者の革新的な技術開発に対し、研究助成と奨学助成を行う。	平成23年5月 平成24年3月	東北大学	3人	研究者3人 大学院生3人	1,200